

キャリア



中学校

高校

総合

仕事ハッケン伝  43分

MEGUMI×花屋 (2012年放送)

プロフェッショナル 仕事の流儀  43分

あたり前が一番むずかしい
～パティシエ・杉野英実～ (2006年放送)

この番組の良さ



仕事ハッケン伝

子どものころからあこがれていた花屋で修行するMEGUMI。最初に配属されたのは、華やかな店舗からは想像がつかない寒い地下の作業場所でした。現場の様子をリアルに伝えてくれるこの番組は、花屋の仕事をまるごと見せてくれるとともに、働くことの意味を考えさせてくれます。

プロフェッショナル 仕事の流儀

伝説のパティシエ杉野英実。華やかな栄光があるにもかかわらず、今も路地裏の小さな店で毎日菓子を作り続けます。杉野は「進歩がない職人はだめだ」と言います。菓子職人として頂点を極めた彼は、今日より明日、明日よりまたその次の日と、よりおいしい菓子を求めて日々努力します。杉野の職人としての信念を貫く姿は、生徒の心を打つことでしょう。

番組活用のポイント

あこがれの職業について深く知る

色とりどりの花々、美しく飾られた洋菓子など、パティシエと花屋はどちらも華やかな職業というイメージがあり、それゆえあこがれている生徒も多いはず。もちろんそのような気持ちも大切にしたいのですが、現実をしっかりと知ることも大切です。思っていたイメージと実態が違うという理由で、就いた仕事をすぐにやめてしまう若者も少なくありません。興味や関心のある職業について正確に知ることが大切です。それは夢を壊すのではなく、その仕事の奥深さや広がり認識させることにつながり、正しい職業観を育むことになります。

地道な作業、当たり前のことの大切さ

「仕事ハッケン伝」では、MEGUMIの花屋での奮闘ぶりが映し出されます。朝4時から始まる仕入れ作業、寒い地下で花の下処理作業が延々と続きます。しかし過酷な長時間労働には意味がありました。お客の注文に応じて花束やフラワーアレンジメントを作るには、まず素材となる一本一本の花のことを知らなければならないのです。地道な作業の大切さに注目し、番組を視聴させましょう。

「プロフェッショナル 仕事の流儀」に登場する杉野の生き様は、働くことの醍醐味を教えてください。彼の口癖は「当たり前のことが一番むずかしい」。素材の吟味、正確な計量…それらはすべて完璧な菓子を作り出すために必要なことです。でもそれを毎日やり続けるのはたやすくありません。細部に気を配り続ける彼の姿には鬼気迫るものがあります。毎日作業に手を抜かない彼の姿を通して、真剣に仕事に取り組むことの尊さを感じ取らせたいものです。 (廣川伸一)